

令和4年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和5年1月11日

協議会名： 行田市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域公共交通計画策定事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③計画等の策定等に向けた方針
<p><①地域公共交通の利用実態の把握> 内容 (1)人口や流動、土地利用、都市機能などを公共交通を取り巻く現状の把握 (2)公共交通についての現状の把握 結果 (1)今後も高齢化が進む。通勤・通学では一定の流入・流出がある。現在の市街化区域に都市機能が集約されている。 (2)鉄道2路線と民間の路線バスに加え、市が運行する市内循環バスとデマンドタクシーがあり、利用圏域は広い。一方で、運行本数などの利便性に差があり、利用は鉄道駅との利用や通院利用に集中している。</p> <p><②住民・利用者の意向調査> 内容 (1)地域公共交通に関する市民アンケート(対象:2,000人にアンケート送付) (2)デマンドタクシー利用者アンケート(対象:800人にアンケート送付) (3)路線バス利用者アンケート (4)市内循環バス利用者アンケート 結果 (1)日常的には自家用車での移動が大半で、公共交通の利用は少ない。一方で、市が財政負担して公共交通を維持する必要性はある程度認識されている。 (2)通院での午前中の利用が非常に多く、コロナ禍以降でも利用状況は大きく変わらない。また、利用満足度は非常に高い。 (3)JR吹上駅との間を高頻度で利用する通勤・通学者が主で、運行本数と運行時間帯は満足の方が多。 (4)通院や通勤の利用が多く、運行本数と運行時間帯は不満の方が多。</p> <p><③課題分析及び目標検討> 内容 ①と②より現況を整理するとともに、④の意見を加え、本市における公共交通の課題分析を実施。その上で、目標の方向性を検討。 結果 公共交通を確保する必要性は高いことから、現状の改善点を見直し、費用負担を抑えつつ、利便性等の確保による利用拡大を図る。(予定)</p> <p><④地域公共交通に関する意見交換会の実施> 内容 (1)公共交通の現状や意向調査結果の説明 (2)公共交通の課題の整理 (3)公共交通の将来像 ※(2)と(3)についてはグループに分かれ、ワークショップ形式で意見交換を実施 結果 2月4日実施(予定)</p>	<p>調査事業は計画どおり適切に実施された。</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<p>この調査事業の成果に基づき、令和5年度に基本方針や計画目標達成のための事業等について検討を行い、同年9月に計画を策定予定である。</p>

令和4年度 行田市地域公共交通会議（埼玉県行田市） （地域公共交通計画策定事業）

公共交通の概況・地域の特徴

鉄道は、JR高崎線が市の南西部を、秩父鉄道が市の中央部を東西に走っている。また、路線バスは、2事業者が5路線を運行し、それぞれ市民の通勤・通学の足となっている。

その他、コミュニティバスである市内循環バス全6路線を運行するほか、バス停までの移動が困難な方のための移動支援として、ドアtoドア型のデマンドタクシー事業（市民で75歳以上又は障害者を対象としたタクシー利用料金補助）も市全域を対象として実施している。

地域の抱える問題点・計画策定調査の必要性

これまで交通に関する計画がなかった当市において、基本的な方向性が定められていない中で、場当たりの見直しとなっていた。また、路線バス、市内循環バス、デマンドタクシーが公費投入により運行されており、運行経費は年々増加傾向にあり、市財政面において厳しい状況にある。

計画策定において、利用実態の調査、利用者や一般市民の意向調査等を行って、課題を把握し、各公共交通機関の役割や施策の方向性を整理するとともに、各交通機関が相互に連携し、競合しない効率的な運行を行い、あらゆる世代にとって便利で、持続可能な公共交通ネットワークを構築する。

アピールポイント

【立地適正化計画との一体的な計画策定】

調査事業の委託業者を選定する際、同時期に策定を開始する立地適正化計画との整合性や連携性を重視し、2つの委託業務の相互連携を含めた検討能力や調整能力に基づいた企画提案を受け付ける公募型プロポーザル方式により同一の契約候補者を選定した。

【様々な声を収集し反映させる計画策定】

16歳以上の市民から無作為抽出した2,000人を対象とした「市民アンケート」、デマンドタクシーの利用者800人を対象とした「デマンドタクシー利用者アンケート」、そして、「路線バス利用者アンケート」と「市内循環バス利用者アンケート」の4種類の調査を実施した。さらに、普段の利用状況や外出手段で困っていることなど、市民等の生の声を聞く意見交換会（令和5年2月予定）を実施し、多くの意見を集約し、計画に反映させることとした。

なお、市民アンケートにおいては、無作為抽出対象者以外にも広く意見を収集するため、Webでも回答を可能とし、市ホームページへの掲載や市内イベント時にアンケートへの参加を呼び掛けた。



面積	67.49km ²
人口（R4.4.1時点）	79,021人
15歳未満	8,668人
65歳以上	25,573人
高齢化率	32.36%

協議会開催状況

令和4年度の開催状況（予定含む）

- ・第1回（R5年1月11日）
アンケート調査結果について
意見交換会の開催について
- ・第2回（R5年3月予定）
課題と整理について

○公共交通の現状

【市内循環バス】

- ・平成7年より運行している。
- ・6コースあり、忍城バスターミナルが結節点となっている。(南大通り線を除く)
- ・車両も大きく本数も多い「観光拠点循環」「西循環」「南大通り線」はJR行田駅との路線になる。
- ・一方、点在する集落と中心市街地を結ぶ路線である「東循環」「北東」「北西」は車両が小さく本数が少ない。

【民間の路線バス】

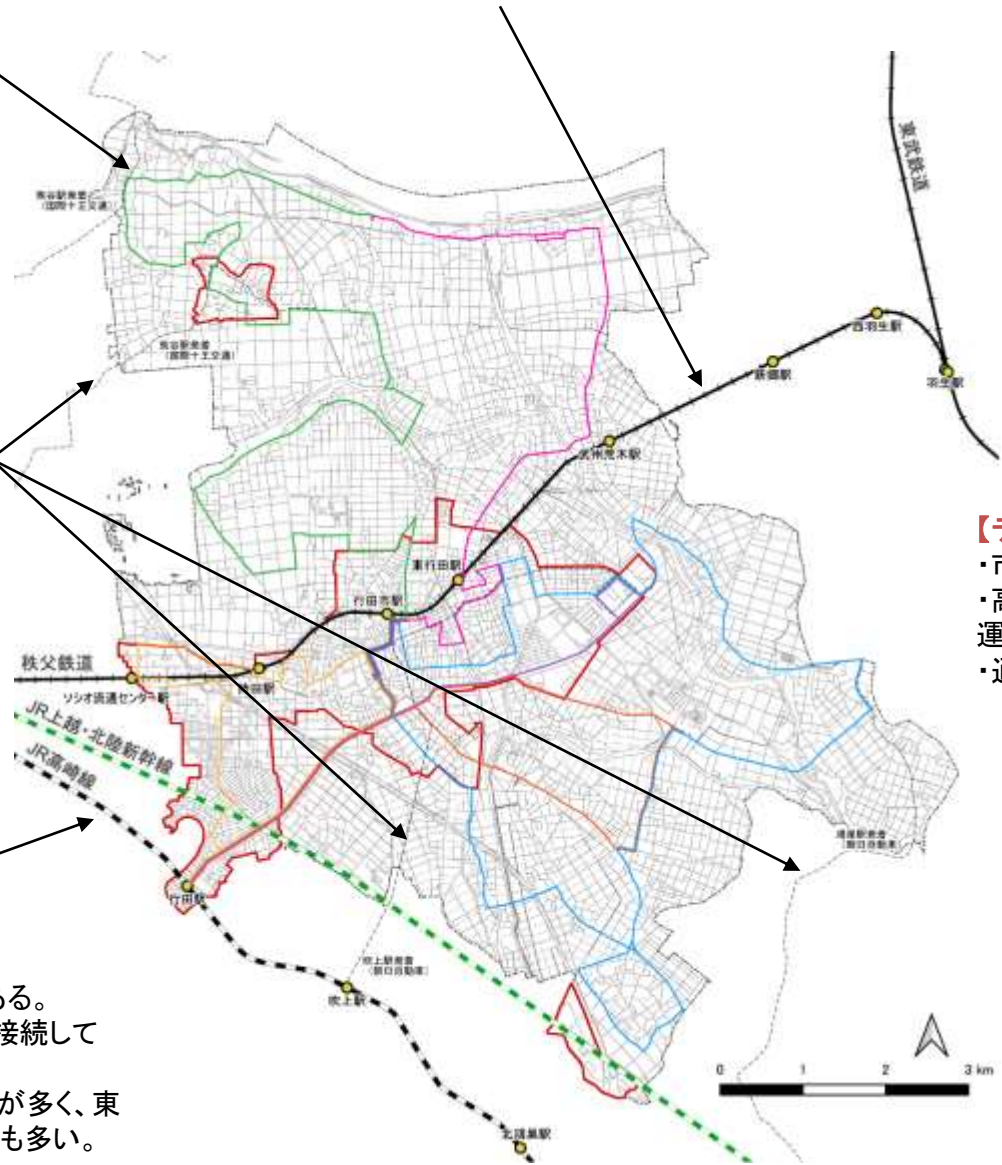
- ・2社で運行中である。
- ・最も本数が多いのが吹上駅との路線であり、1時間3本程度は確保されている。
- ・市北部を運行する熊谷駅との路線はそれぞれ1時間1本程度ある。
- ・鴻巣駅との路線は運行本数が非常に少ない。
- ・市内で利用の多いバス停は「長野一丁目」バス停となる。

【JR高崎線】

- ・東京方面との利用で主となる路線である。
- ・市内駅は行田駅で、市内循環バスが接続している。
- ・民間路線バスは吹上駅との運行本数が多く、東京寄りでもあることから、吹上駅の利用も多い。

【秩父鉄道】

- ・一定の頻度が確保されている。
- ・接続が熊谷駅や羽生駅となることから、中心市街地と東京方面との移動はバスで直接JR駅へ向かう利用が中心である。
- ・徒歩や自転車での利用が多い。



【デマンドタクシー】

- ・市内全域を網羅している。
- ・高齢者など対象者を限定して運行中である。
- ・通院の利用が非常に多い。

凡例

<市内循環バス>

- 東循環コース
- 北東コース
- 北西コース
- 観光拠点循環コース
- 西循環コース
- 南大通り線コース

<路線バス>

- 路線バス

- 行政界

- 市街化区域